

# 地域ボランティアによる 音楽(和楽器)出前授業

令和2年2月14日(金)



地域ボランティアの方においでいただき、1年生の音楽授業で和楽器の鑑賞と体験の出前授業をしました。

最初に、昨年大ヒットした「パプリカ」を演奏していただきました。体が自然とリズムをとっていました。

三味線の曲弾きでは、お一人で演奏されましたが、音の強弱や語りの力強さに驚きました。「春の海」は尺八と琴で演奏されました。お正月によく耳にする曲なので、親しみを持って聞くことができました。



和楽器体験では「さくらさくら」を演奏しました。楽譜は数字で表されていることなども分かりました。

体験を通じて、それぞれの楽器の難しさや面白さも感じることができました。

## 〔生徒感想〕

- 三味線にはギターのように音程をとるためのフレットがないので、思った通りの音を出すのが難しい。
- 琴は琴柱を立てる位置で弦の音階を決めることができるので、楽しく弾けた。
- 尺八は息の強さや吹き込む角度などで微妙に影響するため、まず音を出すこと自体がとても難しい。



